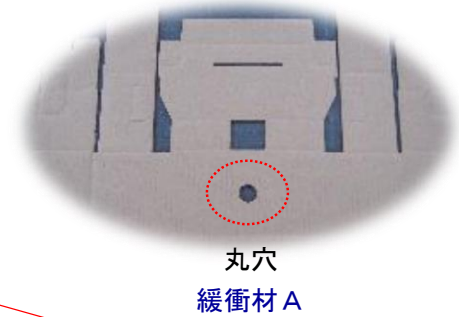
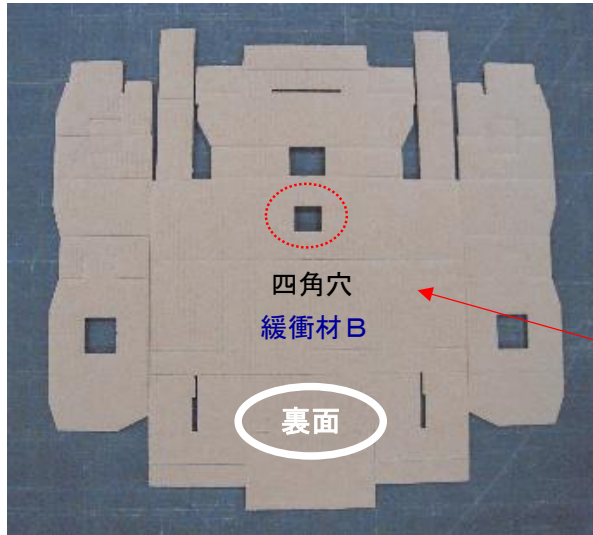


きょうぎ か だい  
【競技課題 1】

かんしょうざい くみたて けっそく  
緩衝材の組立・結束

てん かい ず  
展 開 図



※緩衝材は2種類あります

※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります

かん せい ず  
完 成 図

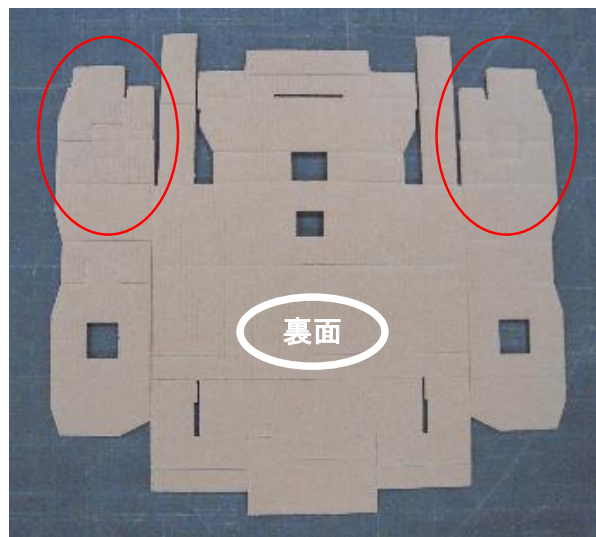


組立完成図

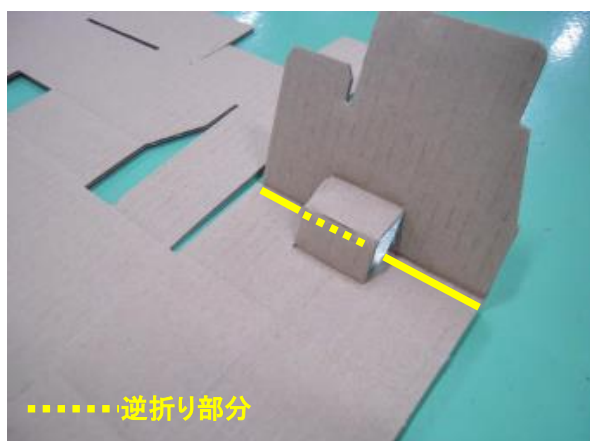


結束完成図

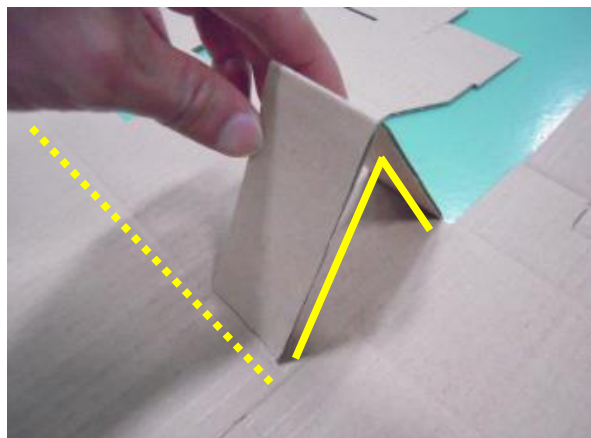
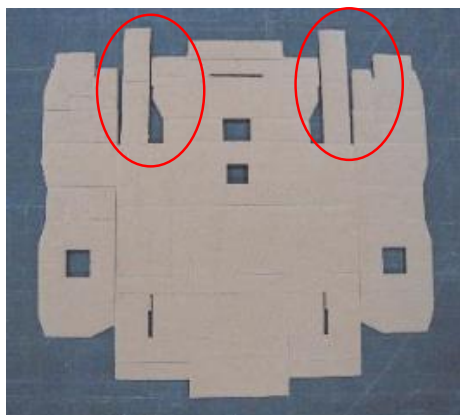
1. 緩衝材は2種類あるが、基本的な  
折り方は共通です。(写真は緩衝材B)  
緩衝材の裏面を上にし折ります。  
最初に○印の箇所から折ります。



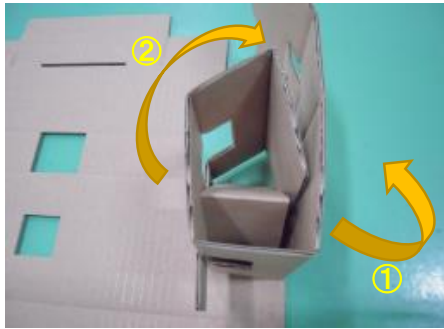
2. 本体の袖部分2か所に折り癖を付ける。



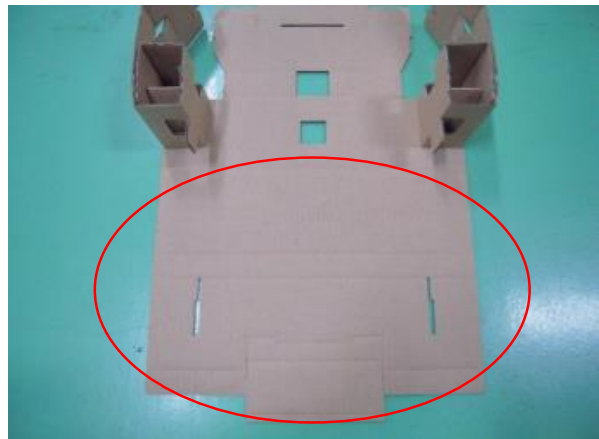
3. ○部を点線部分の罫線に合わせ折り込み  
三角をつくる。



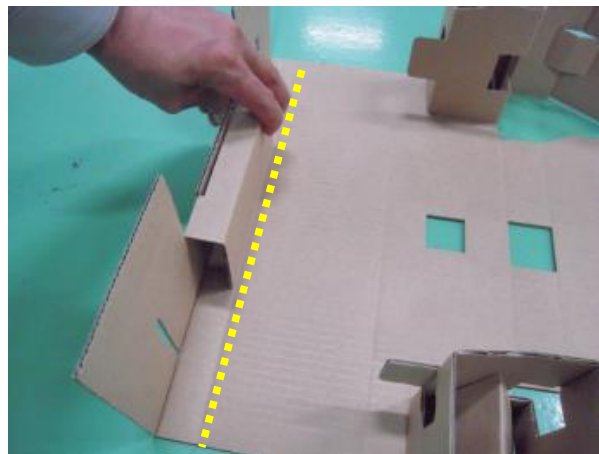
4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。



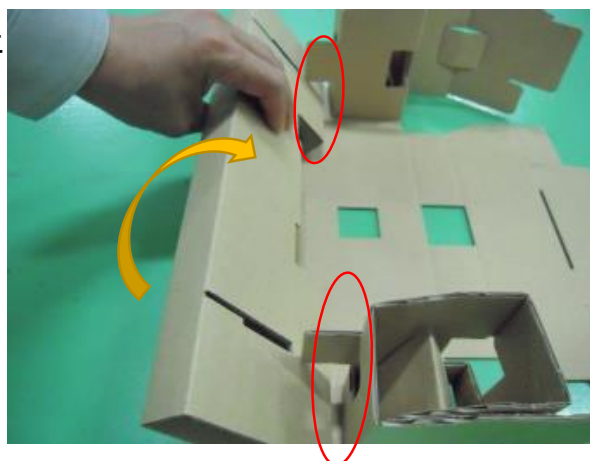
5. ○で囲んだ部分を折ります。



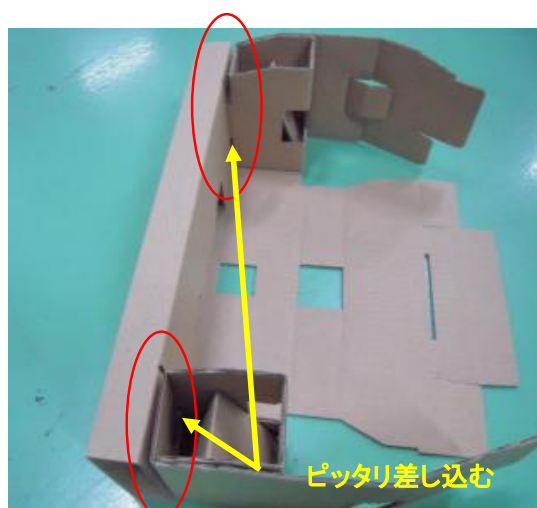
6. 中心部を点線部の罫線に合わせ折ります。



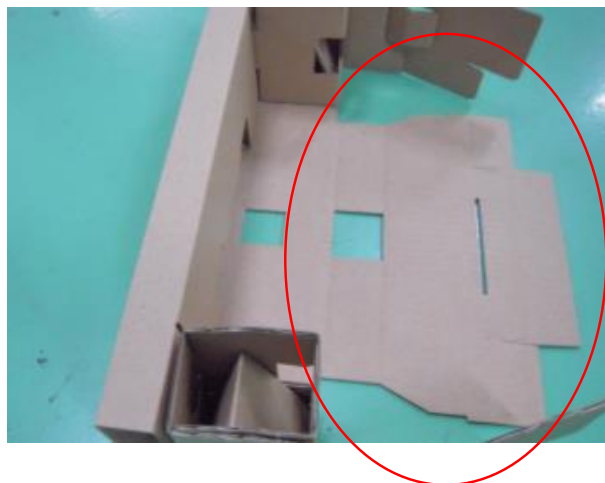
7. 両端先端部を折り込み、全体を矢印方向に  
立ち上げながら折り込む。



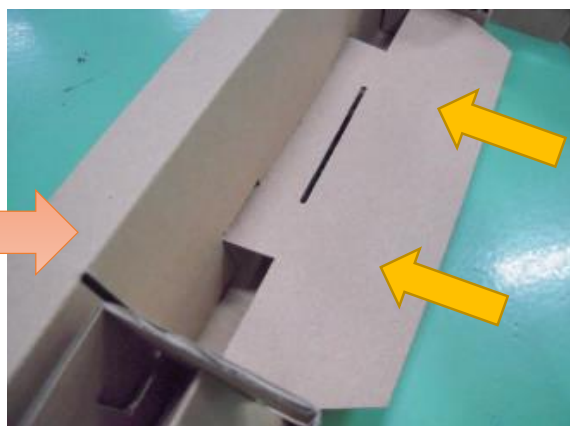
8. 穴部に袖部分の凸部分を差込ながら  
全体を立ち上げ折り込む。



9. ○で囲んだ部分を折ります。



10. 先端部<sup>せんたんぶ</sup>3か所<sup>しよ お</sup>を折りながら矢印<sup>やじるし ほうこう</sup>方向に折り込む<sup>お こ</sup>。



11. 全体<sup>ぜんたい</sup>を折り込み、本体<sup>お こ</sup>にピッタリと押し込む<sup>ほんたい お こ</sup>。

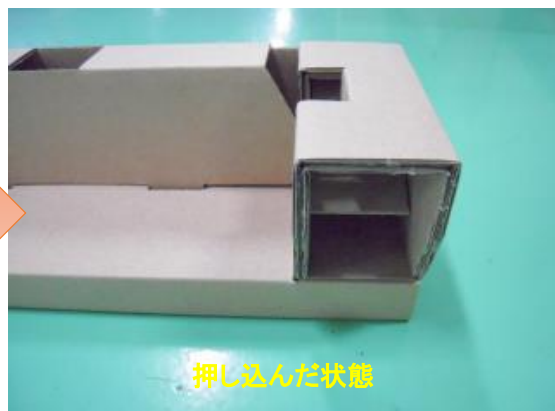


12. 袖部<sup>そでぶ</sup>が上<sup>うへ</sup>にくるように向き<sup>む か</sup>を変える。

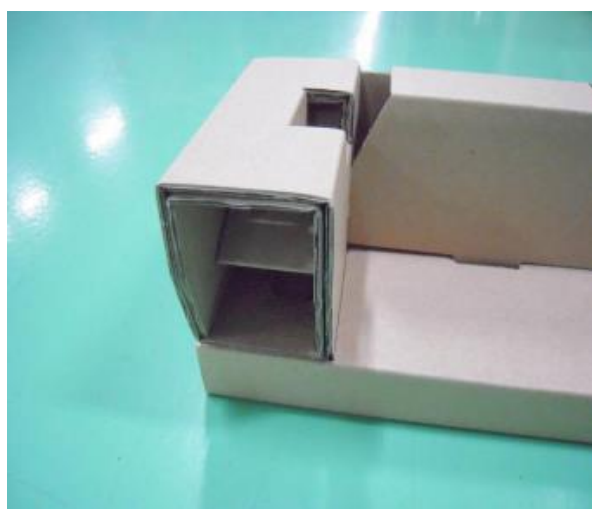




13. <sup>そでぶ</sup>袖部を<sup>けいせん</sup>罫線に<sup>あ</sup>合わせ<sup>お</sup>折り込み、<sup>せんたんぶ</sup>先端部を<sup>ほんたい</sup>本体に<sup>さこ</sup>差し込む。



14. <sup>ほんたいがわ</sup>反対側も<sup>どうよう</sup>同様に、<sup>ほんたい</sup>本体に<sup>さこ</sup>差し込む。



15. <sup>お</sup>はじめに<sup>さんかくぶぶん</sup>折った三角部分が<sup>せいかく</sup>正確に<sup>さんかく</sup>三角になっているか<sup>かくにん</sup>確認し<sup>かんせい</sup>完成。  
これを<sup>かんしょうざい</sup>緩衝材Aと<sup>かんしょうざい</sup>緩衝材Bそれぞれ<sup>こ</sup>5個ずつ<sup>かんせい</sup>完成させる。



16. 作業台に結束紐を可能な限り直線に置く。



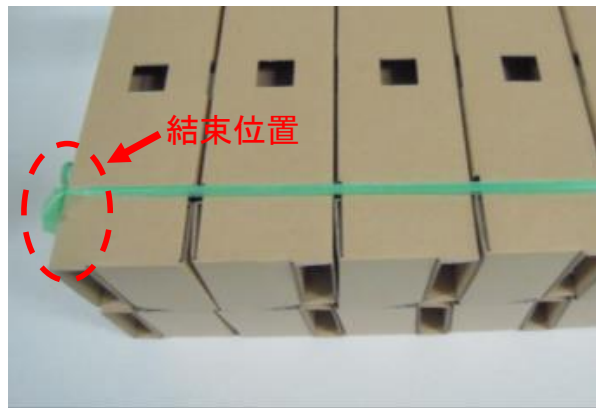
17. 設置した結束紐の上に緩衝材5ヶを  
結束紐が端側位置にくるように置く。  
置く際は○口穴が下にくるように置く。



18. 17で置いた緩衝材と異なる緩衝材  
(○穴であれば□穴、□穴であれば○穴)を  
5ヶ、穴が上にくるように置く。



19. 緩衝材の端から10cm以内の角で  
結束する。結び方は自由。  
ただし、8cm以内の結び目で容易に  
解く事が可能な結び方にする。  
また、紐を持ち上げたとき、製品と紐の  
間隔が5cm以内になるようにする。
- ※課題2では、自ら作成した製品の  
紐を解いて使用します。



20. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の  
端にくるように設置する。



21. 緩衝材の角で結束し完成。

